

鈴木ひでなお の

12月議会報告

第
7
号

令和6年1月
東小川 6-23-12
鈴木ひでなお
後援会発行

議会改革に向けスタート！



全議員で和紙マラソンを応援

☆月1回程度、全議員で協議

小川町をよくしたいという思いは同じ。16人の議員がみんなの声をより議会に反映できるよう、様々考え始めました。

例えば、みなさんの疑問や願いを直接伺う機会を設けたり、議員定数や選挙日の変更を検討したり…また、傍聴の方への配慮等、具体化を進めるため協議しています。

私の考え方

議会からの方通行ではなく、住民から直接話を聞き、双方向で意見交換することが求められているのだと思います。

Q インフルエンザワクチン接種の子どもへ助成を

・昨年秋からインフルエンザが猛威を振るっている。小中学校では学級閉鎖が後を絶たない。予防のためにワクチン接種をするとなると、1回4000円ほどかかる。12歳以下の子どもは2回接種の必要があるので、8000円ほどとなる。家族みんなで接種するとなると、大きな負担となってしまう。2回の接種が必要な12歳以下の子どもにだけでも助成できないか。

A 近隣の市町村でも助成しているところがあるので、研究します。

・助成の方法や額は市町村によって様々。町独自の助成となるので、実施の可能性について研究します。

私の考え方

12月の補正予算で「こども医療費」が1000万円の増となった。インフルエンザにかかった子どもが通院したことが要因の一つ。それなら、助成によってワクチン接種を促すことで発症も医療費も抑えられるだろう。

12月議会での主な決定事項

多くの条例制定や改正を決定

◎産前産後（4ヶ月分）の国民健康保険税を免除する条例

- ・地方税法の改正に伴う措置

◎新中学校の名称を定める条例

- ・アンケートに基づいて「小川中学校」に決定

補正予算を決定

◎低所得者世帯支援給付金

一世帯7万円（2億2400万円）

- ・物価高騰の影響の大きい世帯への給付。2月下旬から給付開始

◎水道料金の減免

- ・引き続き12月～3月も（6,076万円）

今後の私の検討課題

◎学校の魅力をアップする

学校が減る分、残った学校を素晴らしいものにしたい。

- ・学校内塾の開設、給食の充実 図書館司書の常駐等

◎シニアの活躍はどうなったか

- ・府内検討チームの進捗状況

◎環境保全を進める

- ・30by30の申請

◎パトリアを充実させる

- ・生きがいホールの多目的化

※上記についてご意見や情報をお寄せいただければ幸いです。



12月議会での一般質問の様子

☆ご意見・ご要望は



070-5374-5891



marusu745340@gmail.com

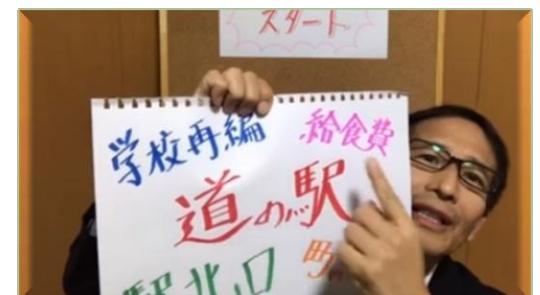


YouTube



ホームページ

☆YouTubeで町の文化や行事、がんばる若者たち、心に感じる思い等を配信しています。ぜひ、ご覧ください。



ウラもあります、ご覧ください

3つの政策の進捗状況

1 自然を守る

- ・下里・水穴の太陽光について、不適切案件として
経産省に訴え、情報提供を続けました。

2 子育てをサポート

- ・給食試食会に参加し、実態を調査しました。
「地産地消コーディネーター」を町を通して文科省から派遣してもらいました。アドバイスを受け対応しています。

3 高齢者をサポート

- ・地域の行事に参加し現状を学ばせていただきました。



小川町の課題（全員協議会での執行部からの情報）

公共施設の老朽化

リリックやパトリアをはじめ、小中学校、公民館等
空調設備が不調になったり、雨漏りしたりしている。

国民健康保険税の逼迫

被保険者が減る一方、高齢者が増え医療費が増加傾向。

水道使用量の減少と施設・設備の老朽化

人口減少で使用料が減り料金収入が減る中、水管等の
リニューアルで支出が増加。

…施設は縮小・税や料金は値上げの方向。何とかしたい。

長野県への視察研修（R5.12.19～20）



岩村田商店街での研修風景

議会改革（飯綱町）

- ・執行部提出議案を追認すだけ
ではなく、力をつけて自ら提案
できる議会へ改革。

学校跡地の利活用（いいづなコネクト）

- ・町にないものよりもあるものに着目
して企画を作る。

商店街の再生（佐久市・岩村田商店街）

- ・商店街の空き店舗に住民の要望を聞き
「おかず屋」を開業。

その後、子育て機関を開設。コミュニティ作りに腐心している。

弾道ミサイルを想定した避難訓練

1月に東中学校で予定されていました。（内閣府→県の危機管理室からの要請）

それを知った町民が考える会を立ち上げ、先ずは知つてもらおうとチラシを作つたり、町と話し合いをしたり、新聞に取り上げてもらつたりと行動しました。

町は、「今、ウクライナに加えてガザ地区の報道が連日ある中受験間近の中学生に訓練をすることは適当でない。」と訓練を中止しました。（町の決断を評価します。）

私も事実関係を町に確かめ、12月議会で質問も用意しました。中止になつたので、質問しませんでしたが、今後も注視していきます。